



# 西堀小だより

12月号 令和5年12月1日発行

児童数 351名  
新座市西堀 2-18-3

TEL 042 (491) 6671  
FAX 042 (495) 8848

【校訓】 禮儀(れいぎ) 質朴(しつぱく) 自治(じち)  
【教育目標】 やさしく かしこく たくましく



## 東京2020オリンピック体操日本代表 亀山 耕平 選手 来校!

校長 鈴木 勝

いよいよ12月。師走を迎えました。7日は、二十四節気の『大雪』です。本格的な冬、雪の季節の到来です。この季節、冷たく澄んだ空気の中、夜空高く凍ったように明るく光る月は見ているだけで心が洗われるような気がします。

さて、過日11月6日(月)に、本校の特色ある教育活動『プロ・本物から学ぶ体験授業』の一環として、東京2020オリンピック体操日本代表・あん馬5位入賞の 亀山 耕平(かめやま こうへい)選手にご来校いただき、本校児童、保護者、地域の皆様に出前授業を行っていただきました。

はじめに、『ダラダラ体操』を行い、緊張をほぐしていただきました。ご講演では、オリンピック選手になるまでにどのように取り組んでこられたかをお話していただきました。たくさんの人々に応援され、今の自分があると話されていました。そして、応援される人、応援する人になれるよう行動してほしいということで、担任の先生を学級の子供たちが囲み、大きな声で「先生頑張っ！」と応援し、次に先生が子供たちに大きな声で「頑張ってるぞー！」と応援を返しました。とても感動するシーンでした。

後半、あん馬のデモンストレーションで閉脚旋回、開脚旋回を披露していただきました。「ウォー!!」子供たちの反応です。足のつま先までピンと伸びていて素晴らしいかったです。この出前授業を通して、西堀小の子供たちの豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力の基盤が培えればと願っています。

### 【全国学力・学習状況調査(6年生)の結果から】

10月号で埼玉県学力・学習状況調査の結果についてお知らせしましたが、6年生を対象として4月18日に実施されました全国学力・学習状況調査の結果についてご報告いたします。

この調査の大きなねらいは、子供たちの学力のどこに課題があるかを明らかにし、授業や個別指導に役立てることにあります。テストで正解できなかった個所を教師が十分に分析・把握し、身につけていないところを補充します。併せて、教師自らの指導方法の改善に役立ちます。6年生を対象とした調査ですが、調査内容はこれまでの5年間の蓄積を見るものになっています。どの学年のどの単元でつまづいているかを示す大変重要な評価であると考えます。

国 語	西堀小正答率(%)	埼玉県平均(%)	全国平均(%)
平成30年度	64	71	70.7
令和5年度	64	68	67.2

国語については、全国平均よりも3.2ポイント程度下回る結果となりました。しかし、平成30年度から、確実に全国平均との差が縮まっています。問題別に正答率を見てみると「文章の種類とその特徴について理解しているかどうかをみる」問いは全国平均よりも上回り、正答率87%を越えていました。また、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問いの正答率も高く、県平均とほぼ同等の結果となりました。一方で、「求められている問題点と解決方法を書く」「敬語の使い方として適切なものを選択する」という問いに対しては、正答率が50%を下回り、無回答率が高いという結果になりました。内容別では、「読むこと」「話すこと・聞くこと」の正答率が70%近くで、全国平均とほぼ同等でした。「書くこと」では、特に自分の考え表現することに大きな課題が見られました。

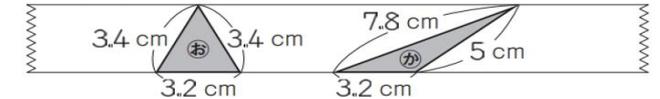
算 数	西堀小正答率(%)	埼玉県平均(%)	全国平均(%)
平成30年度	56	62	67.2
令和5年度	60	62	62.5

算数については、全国平均よりも2.5ポイント程度下回る結果となりました。国語と同様に毎年着実に正答率は向上しています。問題別では、「伴って変わる二つの数量の関係が、比例の関係ではないことを説明するために、表の中の適切な数の組を用いることができるかどうかをみる」「正方形の意味や性質について理解しているかどうかをみる」問いは全国平均よりも上回り、正答率90%を越えていました。一方で、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に

面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」問いの正答率が低かったです。領域別では、「数と計算」66%、「データの活用」71%の正答率で全国平均を上回りましたが、「図形」42%の正答率は全国平均より6ポイント下回る結果となりました。無回答の割合は大変少なく、基礎的・基本的な知識・技能は身につけています。

正答率が最も低かった問いです。ぜひ考えてみてください。正答については、冬休み号に掲載いたします。

えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のよう【お】と【か】の2つの三角形をつくります。



【お】と【か】の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。1~4から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その理由を言葉や数を使って書きましょう。

- 1 【お】の面積の方が大きい。
- 2 【か】の面積の方が大きい。
- 3 【お】と【か】の面積は等しい。
- 4 【お】と【か】の面積は比べることはできない。



生活状況調査で特徴的な項目は以下の通りです。

質問事項	西堀小(%)	埼玉県(%)	全国(%)
自分には、よいところがある	80.0	85.6	83.5
将来の夢や目標を持っている	80.4	82.7	81.5
いじめは、どんな理由があってもいけない	95.1	97.1	96.9
困ったとき、先生や学校にいる大人に相談できる	75.4	72.2	68.5
人の役に立つ人間になりたい	95.1	96.3	95.9
学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	85.2	84.3	77.2
先生は、あなたのよいところを認めてくれる	95.0	92.3	89.8
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある	93.5	91.2	91.0

昨年度同様に「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をした児童が95.1%と最も高かったです。また、「全ての問題に対し最後まで書こうと努力した」児童の割合は、国語98%、算数97%と大変高く、県、全国平均を大きく上回る結果が出ました。このことから本校の児童は、『苦手』などの感情をコントロールして学習意欲を高める活動(努力調整方略)に優れていることが分かります。西堀小のよいところです。

今回の調査の結果から見えた課題に対して、対策を講じ、引き続き児童の学力向上に努めてまいります。